

登録コード	L1420100	開講年度	2026				
担当教員	渡邊 綾			副担当			
授業科目	社会学概論						
英文授業名	Introduction to Sociology						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生	1～4	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2時限
講義室	人文第4講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			自らもその構成員である現代社会の存立構造を理解することができる。			
	【2022年度以前加付対象】変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力			さまざまな水準の社会問題に共通する要因を把握することができる。			
	【2022年度以前加付対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力			個人と社会をとりまく社会関係や相互作用のメカニズムを理解することができる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			自らもその構成員である現代社会の存立構造を理解することができる。			
授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿、キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業は、社会学の考え方を理解することを通じて、社会を対象化・相対化して認識する力を身に付けることを目的とする。 本授業では社会学の基本的な概念を押さえるとともに、映像資料を用いて、社会現象を社会学の視点から具体的に捉える視点を養うことを目標とする。						
授業計画	第1回：オリエンテーション―「当たり前」を問う社会学 第2回：社会学の歴史・基本的な考え方 第3回：社会を知るためのデータの集め方 第4回：社会をつくる言葉と現実 - 社会構築主義 第5回：規範と逸脱 ルール違反はなくなる？ 第6回：規範と逸脱 排除と差別（グリーンブック） 第7回：格差と階層 進学と再生産 第8回：格差と階層 貧困と社会 第9回：ジェンダー フェミニズム（サフラジェット） 第10回：ジェンダー ジェンダーギャップの現状 第11回：セクシャリティ 性別へのまなざしの変容 第12回：セクシャリティ マイノリティの人権獲得（ハーヴェイ・ミルク） 第13回：家族とライフコース 近代家族 第14回：家族とライフコース 家族ケアとキャリア（Coda あいのうた） 第15回：食と身体 だれが食べるものを決める？、授業アンケート実施 授業内容・順番は変更する場合がある。						
成績評価の方法	毎授業後に提出する課題・リアクションペーパーの提出（30％）と期末レポート（70％）の結果をもとに成績評価を行う。 さまざまな社会現象・問題を社会構造や変動と関連付けながら読み解く基本的視座を獲得し、適切に説明することができるようになったかを評価する。						
成績評価の基準	リアクション・ペーパー、期末レポートは以下の点から評価する。 （1）社会学における基本的概念・捉え方を理解する （2）社会現象を統計・文献などの実証的データを用いて説得的に論じる （3）社会現象の背景や構造について、独自の考察を展開する 全ての点について十分な水準・成果に達していると判断された場合は『卓越している』と評価し、いくつかの点で特に優れていると判断された場合は、その程度に応じて『かなり上にある』『やや上にある』と評価し、総合的に一定の水準を満たしていると判断された場合は『その水準にある』と評価する。						
事前事後学習の内容	【事前】事前にオンライン学習システム上にアップロードされているレジュメを確認すること。その際に、わからないことなどは参考文献を確認すること。 【事後】毎授業終了時に紹介する文献を読むこと。 また必要に応じて以下の3点について積極的に取り組むこと。 1)社会学の基礎概念に関しては社会学事典等で学習すること。 2)社会学史や（高校公民レベルの）思想史に関しては新書レベルの読み物が数多く出ているので事前事後学習に位置づけること。 3)日ごろから新聞や雑誌、インターネットで社会問題や論壇に関して情報収集を行うこと。						

履修上の注意	毎回授業後に課題を提示し，課題提出をもって出席とする。 オンライン学習システムを通じて講義資料の配布を行うため，これらに対応したWebブラウザなどをインストールした端末及びインターネット環境が必要となる。 教科書は社会学の重要概念，命題集を採用している。教科書の構成に沿って授業を進めるわけではなく，概念や命題の説明を参照するために用いる。
質問、相談への対応	e-ALPSの授業サイトから質問・相談を行うことができる。 また，対面での質問・相談を希望する場合は，個別にメールで連絡すること。
教科書	友枝敏雄・浜日出夫・山田真茂留編,2023,『社会学の力（改訂版）』有斐閣． ISBN 978-4-641-17481-8
参考書	長谷川公一，浜日出夫，藤村 正之，町村敬志，2019,『社会学 新版』,有斐閣． 片山悠樹・内田良・古田和久・牧野智和，2017,『半径5メートルからの教育社会学』大月書店． 友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村 俊之・坂本佳鶴恵，2007,『社会学のエッセンス 新版』,有斐閣． ジグムント・パウマン&ティム・メイ,2016,『社会学の考え方 第2版』ちくま学芸文庫．